

生乳取扱者技術認定講習会実施要領

(趣 旨)

第 1 北海道における生乳の品質改善と今後指向される生乳の品質格付け方法の多様化への対処に資するよう、生乳取扱者の生乳等に関する専門知識および生乳検査の技術水準の向上を図る必要がある。

このため、公益社団法人北海道酪農検定検査協会(以下「この会」という。)は、北海道が定めた北海道生乳取扱者技術認定事業実施要綱(平成 11 年 6 月 29 日酪畜第 542 号農政部長通知)に基づき、生乳取扱者や畜産関係技術者等を対象に濃密な教育研修を行ない、その結果適当と認められる者を認定技術員として北海道知事に認定申請するとともに、道産生乳のなお一層の品質向上に資することを目的とする。

(生乳取扱者技術認定講習会の受講資格)

第 2 講習会の受講者は、生乳取扱者または生乳取扱者になろうとする者で、次の各号の一に該当する者とする。

- (1) 5 年以上、生乳の取扱業務に従事した経験を有する者。
- (2) 学校教育法(昭和 22 年法律第 26 号)による高等学校を卒業した者、またはこれと同等以上の資格を有する者で、2 年以上生乳の取扱業務に従事した経験を有する者。
- (3) 学校教育法による大学を卒業した者、またはこれと同等以上の資格を有する者で、牛乳及び乳製品に関する専門の技術を習得した者。

(生乳取扱者技術認定講習会)

第 3 生乳取扱者技術認定のための講習会に係る日程および科目等については、毎年度北海道知事と協議のうえ別に定める。

(生乳取扱者技術認定講習会運営委員会)

第 4 生乳取扱者技術認定講習会の円滑な運営を図るために運営委員会を設ける。

- (1) 委員会は、道職員、指定生乳生産者団体、乳業者および関係団体の役職員ならびに学識経験者のなかから、この会が委嘱した委員をもって構成する。
- (2) 委員会は、認定講習会の運営に関して必要な事項を協議する。
- (3) 委員会には、正副委員長各 1 名を置くこととし、委員の中から互選する。
- (4) 専門的立場から意見を仰ぐため、委員会に顧問を置くことができる。
- (5) 委員ならびに顧問の任期は、1 年間とする。

(生乳取扱者技術認定に係る認定申請)

第 5 この会は次の要件を満たした者について、北海道知事に認定の申請を行う。

- (1) 認定講習会の所定の課程を終了した者。
- (2) 講習科目について効果の測定を実施し、別に定める認定基準を満たしていると認められる者。

(資格認定の取り消し)

第 6 この会は生乳取扱認定技術員が、その信用を失墜させる行為を行ったときは、北海道知事と協議し資格を取り消すことがある。

(そ の 他)

第 7 この要領に定めるもののほか、必要な事項は会長が定めるものとする。

付 則

- 1 この要領は、平成 11 年 7 月 1 日 から実施する。
- 2 この要領は、平成 12 年 7 月 11 日 から実施する。
- 3 この要領は、平成 27 年 3 月 20 日 から実施する。
- 4 この要領は、平成 30 年 5 月 18 日 から実施する。
- 5 この要領は、2022 年 10 月 1 日 から実施する。